《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用

《担当者名》高橋 勇造（非）

【概要】

この授業は、ボランティアの理論と実践活動を通して、子どもたちの様子、地域連携の理念を理解するとともに、自己理解を深め、地域に貢献する意志を有した人材の育成に寄与することを目的として、講義及びボランティア実践を行うものである。

【学習目標】

1. ボランティアに関する基礎知識を得て、それを自分で説明することができる。
2. 地域や子どもたちの諸課題を広く概観することにより、地域における身近な課題を発見することができる。
3. 自己理解の深化と社会的な問題の解決への意欲を高められる。
4. チームとしての協働の必要性、重要性を理解することができる。
5. 自身の意見をまとめ、説明することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	講義の概要	本講義を通してどのような活動をするのか、何を学ぶのかなどを概観できる。	高橋
2	ボランティア活動と心理側面の理解	ボランティア活動の理論と歴史を配布資料に沿って、ボランティア活動を通じて、人間の心と行動の理解ができる。	高橋
3	ボランティアの理解	札幌市内でボランティア活動に取り組むNPOの事例をととして、その意義を理解できる。	高橋
4	ボランティア活動のインタビューの準備(1)	関心のある社会課題について調査し、その社会課題について、説明することができる。	高橋
5	ボランティア活動のインタビューの準備(2)	関心のある社会課題に取り組むNPOへのインタビューに向けて、インタビュー手法・注意点を説明し、実践ができる。	高橋
6	ボランティア活動の準備	ボランティア活動に必要な知識や技能を実践できる。	高橋
7	ボランティア活動をする団体へのインタビュー(1)	ボランティア活動に取り組むNPOにインタビューを行い、活動の意義、活動現場について知る。	高橋
8	ボランティア活動をする団体へのインタビュー(2)	ボランティア活動に取り組むNPOにインタビューを行い、ボランティアの存在意義を理解する。	高橋
9	ボランティア活動の実際(1)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(団体の存在意義の理解他)	高橋
10	ボランティア活動の実際(2)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(活動の対象の理解他)	高橋
11	ボランティア活動の実際(3)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(活動している人の役割の理解他)	高橋
12	ボランティア活動の実際(4)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(団体の運営者の理解他)	高橋
13	ボランティア活動の実際(5)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(団体の課題を見つける)	高橋
14	ボランティア活動の実際(6)	NPOと協力し、ボランティア活動に取り組む。(団体の課題解決を考察する)	高橋
15	地域ボランティア論の総括	自身のボランティア活動を振り返り、さまざまな職種や地域との連携の価値を認識する。	高橋

【評価方法】

ボランティア活動の参加準備レポート20%、参加体験レポート50%、参加活動30%として総合評価する。

【備考】

その他： 指定された時期の間で、NPOと協力し、1回のインタビュー、2回（半日活動の場合には4回）札幌市内でボランティア活動に取り組む。

参加するボランティア活動は札幌市内・近郊各地で行われる。ボランティア先までの交通費等の実費(食事他)は、受講学生の自己負担になる。

教職課程の「大学が独自に設定する科目」に該当する。

【学習の準備】

予習：前回の授業時に指示する課題を読み、理解しておくこと（80分間）。

復習：配布資料に関する課題を活用し、学習内容を深めること（80分間）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP5、1

【実務経験】

ボランティアを活用した子どもと関わる活動をするNPO法人の運営

【実務経験を活かした教育内容】

子どもと関わる活動の実務経験を活かし、実践的な講義をする